

令和7年度 宜野湾港マリーナ・与那原マリーナ・西原・与那原マリンパークにおける  
モニタリングの検証結果について（令和6年度実績分）

1 施設名：宜野湾港マリーナ、与那原マリーナ及び西原・与那原マリンパーク

2 開催日時：令和7年8月15日（金）13:30～16:00

3 開催場所：沖縄県庁11階第4会議室

4 出席者：委員4人中4人出席

（会長）渡久地 啓 （沖縄女子短期大学教授）

（委員）鈴木 和子 （税理士）

（委員）喜名 英之 （（有）桜設計工房代表取締役社長）

（委員）高越 史明 （沖縄県ウォータークラフト安全協会相談役）

（事務局）土木建築部港湾課 港湾開発監

土木建築部港湾課 主幹

土木建築部港湾課 主任

（指定管理者）

宜野湾港マリーナ及び与那原マリーナ指定管理者

株式会社シーエンジニアリング沖縄 代表取締役及び港長

西原・与那原マリンパーク指定管理者 株式会社クリード沖縄

総括責任者

5 検証事項：宜野湾港マリーナ・与那原マリーナ・西原・与那原マリンパーク

令和6年度実績に係るモニタリングの実施結果

6 検証内容

(1) モニタリングは適正に行われているか

(2) 指定管理者に対する県の指導・助言は適切に行われているか

(3) 利用者アンケートや苦情に対する指定管理者や県の対応は適切に行われているか

## 7 検証方法

- (1) 事務局によるモニタリングの実施結果の報告
- (2) 委員からの質疑・意見

## 8 検証結果：施設の管理運営はおおむね適切になされている

## 9 主な質疑・意見

問：使用許可申請時の書類はペーパーレス化を検討できないか。

答：可能なところについて、ペーパーレス申請が行えないか検討したい。

問：修繕について、優先度を付けるというが、具体的にはどのようにしているか。

答：安全に関わる場所を最優先としている。

問：収支がマイナスとなっているが、今後どのように改善していくか。

答：令和6年度に自主事業の単価を見直し、収入は改善している。今後、支出の見直しにより収支の改善を図っていく。

## 10 会議の公開状況：公開